



ひなたぼっこ



令和8年5月1日
ちやいんどベース/IDEKITA
園長 甲斐英哉

新年度がスタートして早くも一ヶ月が経ちました。少しずつ環境にも慣れて笑顔が増えたように感じます。もうすぐ立夏を迎え、暦の上では夏になりますね。夏の気配を感じているのか子どもたちは益々元気いっぱいです。過ごしやすい時期になりましたが暑い日もありますので、子どもたちの健康状態にも注意しながら安心して遊び込める環境を作っていきたいと思います。



～5月の健診～

- 7ヶ月健診…12日(火) 26日(火)
- 1歳6ヶ月健診…14日(木)、28日(木)
- 2歳6ヶ月歯科健診…20日(水)
- 3歳6ヶ月健診…13日(水) 27日(水)

※大切な健診ですので必ず受けましょう。

～絵本の紹介～ 『おにぎりくんがね…』

作・絵 とよたかずひこ
おにぎりくんたちが自分でにぎにぎ、具も食べていたら誰が誰だかわかんなくなっちゃった!でも…「しんぱいごむよう!」とみんなでワイワイしながら読める一冊です!



～4月の子どもたちの様子～



進級おめでとうございます!



新しいお友だちが出来たよ!



どんどん色が混ざっていくね!



夢中で遊んでいます♪



お手々とお手々がペッタンコ～♪



玩具に興味津々♡

今月の保育料の引き落としは
5月25日(月)です。
前日までにご確認ください。

～お知らせ～
5/18(月)～6/12(金)まで
フリー参観となっています。
よろしくお祈りします♪

足に合わない靴を履くとどうなる？



子どもの足は骨や関節が柔らかく変形しやすいため、合わない靴を履くと外反母趾や扁平足、巻き爪などの変形、歩行バランスの崩れ、疲れやすさ、転倒リスクの増加を引き起こします。最悪の場合、将来的な足の痛みや運動機能の低下に繋がると言われています。

① 大きすぎる靴を履いた場合

- 靴の中で足が滑る：つま先がつまり、痛みや巻き爪の原因になる。
- 転倒、つまずき：足が固定されず、歩く度にかかとが浮いて不安定になる。
- 歩行の質の低下：脱げないように指に力を入れる為、正しい地面の蹴り出しが出来ず、扁平足や足の変形（浮き指）に繋がる。

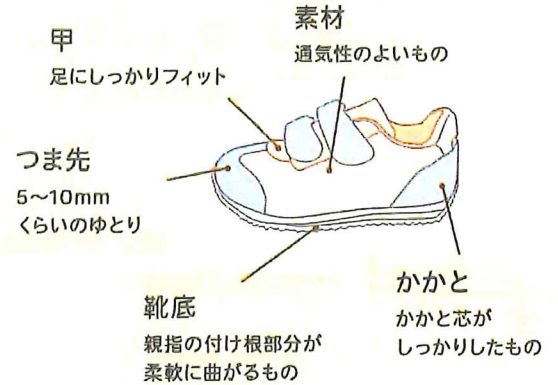
② 小さすぎる靴を履いた場合

- 骨の成長を阻害：指が曲がったまま固定され、骨が変形する可能性がある。
- 痛み、血行不良：足が窮屈で靴を嫌がるようになる。

☆正しい靴の選び方のポイント☆

- 3～4ヶ月に一度はサイズを確認する。
- 中敷きを取り出して、つま先に5～10mm程度のゆとりがあるか確認する。

※「すぐに大きくなるから」と大きなサイズを買うのは避け、常にジャストサイズを履く事が足の健康を守ります♪



進級・入園して一カ月！ 子ども達の今の様子は...!?!?

ひよこ組

入園して初めの頃は泣いていたお友だちも少しずつ安心して過ごせるようになって来ましたよ♪

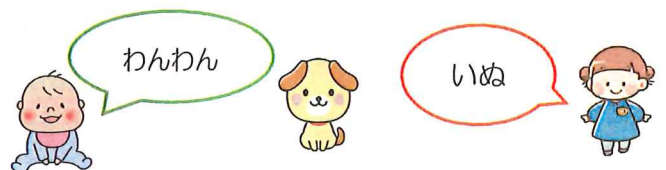
りす組

新しいお部屋にも慣れホールでのびのび遊び園内探索を楽しんでいるりす組さん。ばんび組さんに遊んでもらい嬉しそうにする姿は微笑ましいです♡

ばんび組

年下のお友だちに玩具を貸してくれたり泣いている子がいたら教えてくれたりする姿をよく見かけるようになりました！

『赤ちゃん言葉と幼児言葉』



移行する時期の目安は、1歳半～2歳頃の二語文が出始める頃と言われています。2歳頃は、言葉の「語彙爆発」の時期と言われ自然と大人の正しい言葉に近づいていくと言われています。

『ポイント』

- * 焦りは禁物！無理強いすることなく楽しい会話を優先していきましょう
- * 子どもの言葉を訂正させるのではなく、大人が正しい言葉で繰り返してあげましょう
- ★言葉の発達は個人差が非常に大きいと言われています
気になることがあればご相談ください